

地下鉄高島駅の地上 9:30—岩亀稲荷—掃部山公園—飯岡幸吉の碑—井伊掃部頭直弼の碑—  
 横浜能楽堂—神奈川奉行所跡—金星太陽面経過観測記念碑—伊勢山皇大神宮—成田山横浜  
 別院延命時—野毛山入口の擁壁—中村汀女の歌碑—佐久間象山の顕彰碑—野毛のつり橋—  
 野毛の配水池—H・Sパーマー—オリンピック記念碑—野毛山動物園入口（解散）櫻木町行  
 きのバス時刻 12時26分、56分、13時26分、57分

### 岩亀横丁と岩亀稲荷（がんきいなり）

横浜が開港された安政年間、中区の港崎町（みよざき 関内の横浜スタジアムあたり）に  
 あった岩亀楼（がんきろう）は、火災のたびに他の場所に移り、そこから高島町に移転して  
 きました。岩亀楼は遊郭のなかでも特に豪華で、3階建の上に時計台がついていました。昼  
 間は一般庶民に見学料をとって見せたというほどの設備が豪華でした。この高島遊郭の少し  
 南に「岩亀横丁」とよばれた露地がありました。

この路地に遊女が病に倒れたときに静養する寮があったのにちなみ「岩亀横丁」と呼ばれ  
 るようになりました。この横丁の中ほどに「岩亀稲荷」がまつられており、静養に訪れた遊  
 女がお参りしたといわれる小さなお稲荷さまがあります。この岩亀稲荷は狭い狭い路地の奥  
 にあります。



岩亀稲荷の入り口



岩亀稲荷



遊女亀遊

### 岩亀楼の遊女「亀遊太夫」（きゆうたゆう）

亀遊は8歳で吉原に売られ、15歳で遊女となったといわれています。一番の売れっ子に  
 なった亀遊太夫は、岩亀楼の店主から外国人の一夜妻になれと命じられたのを拒み、

露をだに大和の女郎花（おみなえし） ふるあめりかに袖はぬらさじ  
 の句を残して自害したと伝えられています。

大意は「大和の女郎花（おみなえし）は露だけでも嫌いだということに、降る雨に袖を濡ら  
 しません」

つまり「日本の遊女はほんの僅かでも、異人に肌を許すことはしません だから最初から  
 気のないアメリカ人と、濡れたりするもんですか」ということです。

この亀遊という遊女は実在の人物かどうか、読み書きが出来ない亀遊が、このような句を  
 残すことに疑がわれますが、幕末に尊王攘夷派と開国派が激しく争った当時は、瓦版に誇張

して書かれました。人々には亀遊の死が受け入れられ、後に歌舞伎等で上演されました。

有吉佐和子の戯曲「ふるあめりかに袖はぬらさじ」は、1970年婦人公論に発表した有吉佐和子による短編「亀遊の死」を有吉佐和子自身が戯曲化したものです。舞台は幕末の横浜。ストーリーは、幕末の開港間もない横浜にある遊郭「岩亀楼」に病気になった花魁「亀遊」は、恋仲の通訳藤吉の励ましで快方に向かう。ある日、薬問屋の大種屋に伴われて岩亀楼に来たアメリカ人イルウスが、大種屋の相手である亀遊を身請けしたいと言い出す。藤吉はその交渉を通訳することになる。しかし身請けされることにより、藤吉との恋が成就しないことになることを知った亀遊は、自殺してしまいました。尊王攘夷派と開国派が激しく争っていた当時、遊亀の死は、異人に囲われることを嫌ったことだと、もてはやされました。岩亀楼はその話を聞きつけた客で賑わいました。亀遊の幼馴染みのお園は、亀遊の死の真相を知りながら、攘夷のヒロインの亀遊のことを話すのでした。

### 掃部山公園

掃部山は江戸時代には不動山、明治になってからしばらくは鉄道山とよばれていました。鉄道建設の時、この地が事業の拠点になっていたのです。鉄道建設のために来日した外国人技師の官舎があったからです。鉄道開通後もこの湧き水が鉄道用水として利用されました。鉄道山が掃部山にかわったのは、明治17年(1884)旧彦根藩士の有志が、元藩主の井伊直弼の記念碑建設のため購入し、この山を井伊家の所有にしてからです。

### 掃部山公園 (かもんやま)

県立図書館・音楽堂の近くの小高い丘一帯に広がる公園。大正3年(1914)井伊家が所有していた掃部山を横浜市に寄付しました。市は植樹し設備をととのえ掃部山公園として公開しました。春は桜の名所として、夏は茶の通人であった井伊直弼にあやかった茶会を行い、多くの市民に親しまれています。

### 飯岡幸吉の歌碑

西区花咲町に生まれた飯岡幸吉(1898~1973)は、歌人斎藤茂吉の直門弟子で、  
「まちなかに緑をたもつ掃部山 ましてや虫を聴く夜のたのしき」  
と刻まれた歌碑が掃部山にあります。昭和42年に横浜文化賞(芸術部門)受賞。飯岡幸吉は横浜を代表する歌人です

### 井伊掃部頭の銅像

井伊直弼(1815~1860)は、幕末の大老。彦根藩主で大老に就任後、朝廷の承認を待たずに日米修好通商条約を締結し、横浜開港の総責任者となりました。これを機に条約締結への反対運動が高まり、のちに安政の大獄がおきました。それがもとで万延元年(1880)3月3日、江戸城桜田門外で暗殺されました。和歌、能楽、居合に通じ、とりわけ茶道では「茶湯一会集」などの名著を残しています。掃部山公園に井伊掃部頭の銅像が建立されたのは明治43年(1909)、旧彦根藩士が藩主井伊直弼の功績を検証するためでした。しかし、銅像は昭和18年(1943)戦争中の金属回収のため撤去され、現在の銅像は世田谷区豪徳寺の所蔵の井伊大老像をモデルに、昭和29年(1954)に鑄造されたものです。



飯岡幸吉の歌碑



井伊掃部頭の銅像



横浜能楽堂

### 横浜能楽堂

平成 8 年に開館、本舞台は明治 8 年に旧加賀藩主・前田齊秦（やすなり）の隠居所内に建てられ、戦後は染井能舞台として、能楽再建の拠点となった歴史的にも貴重なものです。平成 8 年（1996）横浜市指定有形文化財に指定されました。

### 神奈川奉行所跡

安政 6 年開国にあたって、大岡川河口の砂洲だった横浜村が開港場に選ばれます。これをきっかけに野毛山の北の高台に神奈川奉行所が設けられました。なぜ関内でなくこの場所が選ばれたのでしょうか。ここは野毛山の断崖が、海に迫っていて、開港場の中央から離れた地にあり、外国人に内政を秘密にできることと、城塞にもできて守りやすく、攻めにくいことが理由でした。また当時の幕府が神奈川宿・保土ヶ谷宿から開港場への物資の流れを管理するためにこの高台を拠点にしたといわれています。外国に脅威を抱いていた幕府は、もしもの時は、横浜道に架かる橋を落として奉行所を砦にしようとも考えていたようです。

### 金星太陽面経過観測記念碑

金星が太陽の全面を通過するという珍しい現象が明治 7 年（1874）12 月 9 日に起きました。日本はこの観測の最適地であったため世界各国から大勢の天文学者が渡来し、横浜、神戸、長崎などに大規模な観測体制が敷かれました。横浜にはメキシコ隊が観測にあたりました。観測 100 年を記念して青少年センターの前に記念碑が建てられました。



神奈川奉行所跡



伊勢山皇大神宮



伊勢山皇大神宮

### 伊勢山皇大神宮

もと戸部村東部の伊勢山（現在の掃部山公園の東北部あたり）にあった大神宮を明治 3 年（1870）に移して伊勢山皇大神宮ととなえ、横浜の総鎮守と決めました。これにより所在地は伊勢山と呼ばれました。境内には明治 10 年（1877）西征陣亡軍人之碑、以德報怨、万葉歌碑などがあります。

## 成田山横浜別院延命寺

本尊は不動王。明治 3 年（1870）に本山成田山新勝寺より分霊を勧請して太田村（現南区西中町）普門院境内に遥拝所を設立。同 9 年高島嘉右衛門から敷地の寄進をうけ現在地に移り、成田山教会と改めました。その後、明治 26 年本山塔頭（たっちゅう）より寺号を延命寺としました。通称、野毛の不動尊と呼ばれています。

## 野毛山の切通し

横浜開港に踏み切った幕府は、みなと横浜のまちづくりを急ぎました。東海道筋と結ぶ道として芝生村（しばう）から開港場所まで一直線に通じる横浜道を計画。野毛山を切り開き横浜みなとに至る道を作りました。開港後この道を通して西洋文化が全国各地に伝えられました。

## 野毛山入口の擁壁（旧平沼専蔵邸の擁壁）

野毛山交差点の角にある六角形の石積み。明治時代に横浜在住の豪商平沼専蔵邸の石垣擁壁。鼈甲石積の施行精度は、市内随一。構築は明治中期です。

**平沼専蔵**（1836～1913）天保 7 年生まれ。

横浜で織物貿易、生糸の売り込み商などを営む。明治 44 年平沼銀行を設立。神奈川県議会議員、横浜市議会議員を経て貴族院議員、衆議院議員になる。極端な勤勉蓄財で壮士らの迫害を受け、伊藤博文に助けられました。これらの縁で金沢文庫復興に建設資金を寄付し、平沼小学校を設立するなど晩節を飾りました。

## 野毛山公園

動物園を含む公園はかつて生糸貿易で財を築いた豪商原善三郎、茂木惣兵衛の屋敷跡です。野毛山公園には約 400 本の桜があり開花時期には、多くの市民が訪れます。



中村汀女の歌碑



中村汀女



佐久間象山頭彰碑

## 中村汀女

女流俳人の中村汀女（1900～1988）は、大蔵省官吏の夫と西戸部町に住み、結婚後中断していました句作を再開しました。文芸雑誌「ホトトギス」の同人として俳壇で本格的な活動に入り、多くの女流俳人に影響を与えました。野毛山公園に

落のうた おもいおもいの 夕汽笛

と野毛の早春を読んだ句碑が建っています。

## 佐久間象山顕彰碑

幕末の兵学、洋学者。信濃の松代藩士。黒船事件以前から開国を唱えていた開国論者で、幕府の下田開港のうわさを聞きこれを批判、横浜開港に奔走しました。新しい日本の建設に力を尽くしましたが、明治維新を見ることもなく元治元年(1864)京都で亡くなりました。昭和 29 年開国 100 年を記念して、野毛山の一角に顕彰碑が建てられました。

## 野毛のつり橋

野毛山動物園と野毛山配水池を結ぶ、市内で最初のスロープ式の歩道橋として昭和 46 年(1971)に造られました。

## 野毛山配水池

開校以来、水不足に悩まされていました横浜に明治 20 年(1887)日本最初の近代水道が創設され、野毛山に浄水場が完成しました。40Km 以上も離れた相模川上流から野毛山まで水が送られてきました。その後、関東大地震で壊滅し現在は浄水場をみることはできません。

大正 15 年(1926)に浄水場の跡地が公園として整備され、地下に 1 万立方メートルの野毛山配水池が完成しました。昭和 42 年に水需要の増加に対して、現在、閉鎖されている配水池の隣にかっ新野毛山配水池を作りました。

## H・Sパーマーの記念碑

日本最初の近代水道である横浜水道の設計と工事を行いました。明治 16 年(1883)来日し横浜をはじめ大阪、函館の水道工事を設計いたしました。再来日後、イギリス陸軍の工兵少将となったが退任し、半生を横浜の都市計画に捧げ、横浜市の開発に大きく貢献しました。昭和 62 年(1987)に近代水道創設 100 周年を祝って、胸像と記念碑が野毛山配水池に建てられました。

## オリンピック記念碑

昭和 39 年東京オリンピック開催。横浜市では、サッカー、バレーボール、バスケットボール(予選)が三ツ沢競技場で行われました。記念碑はこれを記念して設置されました。



野毛のつり橋



H・Sパーマー



オリンピック記念碑

参考資料 西区大好き魅力再発見  
西区歴史街道

サクサク散策西区ガイドブック  
西区の今昔